

令和5年(2023年)度年間授業計画表

学年	3	科・系	選択	単位	2	教科	地歴公民	科目	政治経済
使用教材	第一学習社 高等学校 改訂版 政治経済								
学習目標	社会のあり方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追及したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。								
単元と内容									
1 学期	1 現代国家と民主政治 2 日本国憲法と人権 3 日本の政治制度と政治参加				日常生活は、政治によって様々な仕組みがつくられていることを理解する。				
					自分たちの国をどのようにしたいかという願いや理想が憲法で				
					あり、その中に人々の扱いかた(人権)があることを理解する				
2 学期	1 経済社会の変容 2 現代経済の仕組み				19世紀の自由主義経済から現代の資本主義経済への発展と変容、				
					国民経済における家計や企業の働きと政府の役割について理解する。				
					市場経済の仕組み、金融機関の役割、財政の仕組みなどについて理解し、 それらの課題について考えていく。				
3 学期	1 現代の日本経済と福祉の向上 2 新聞やネットニュースの政治・経済の時事問題について				資源・エネルギー、環境保全、物価と消費者保護、社会保障など経済生活				
					に関する諸課題について考えていく。				
					日々の、新聞やネットニュースで出てくる国内外の政治・経済など、 時事問題について理解を深めその解決策について考えていく。				
評 価									
評価の観点			評価の趣旨						
①	知識・技能		社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探求するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。						
②	思考・判断・表現		国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。						
③	主体的に学習に取り組む態度		よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める						
評価方法	①		②			③			年間時数
	ペーパーテスト 授業時の学習プリント		ペーパーテスト 学習プリントの提出			ペーパーテスト 授業の振り返り			予定
									70 時間
									1単位＝35H
置賜農業 育てる能力		自己肯定感 主体性 生命 他者理解 協調性 生きる力 知識技能 社会貢献							